



下水道広報プラットホーム定時総会

平成27年度事業報告

平成28年度事業計画(案)



平成28年6月8日

平成27年度の総括

「東京中心」から「全国」へ

- **G K P 北海道**の活動が本格化。
- **G J リンク**が地方ワークショップ開催。（北海道、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の**6ブロック**で延べ200名近い参加者）
- **好評のマンホールサミットを水平展開**。関西の**2府4県4政令市**が参画して11/28に神戸市で開催。**約300人**を集めた。

対象・層の拡大

- **マンホールカード発行**（第1弾**28都市30種**）。市民からの関心を高めるとともに、**自治体の広報機会を拡大**。
- **G J リンク**が「**GJ Journal**」を創刊し、**地方の女性職員から情報を発信**。
- **高専・高校生向けの活動の拡大**。
夏季連携講座「下水道マニア」（8/4～7）に全面協力。
未来会の活動を、大学に留まらず、**高専を含めて拡大**。
- **若手職員を意識した企画の実施**。
経営トップを迎えた特別フォーラム「下水道界未来の道標」
（**80名参加**）

平成27年度の総括

目玉プロジェクトの育成

- 「**スイスイ下水道研究所**」(**下水道展**)を引き続き実施し、「**体感**」「**実感**」「**分かりやすさ**」を重視した展示・運営を定着。
- 「**こども下水道場**」(**エコプロダクツ**)の出展が5年目を迎え、3日間で**5,000人以上**を集める企画に成長。
- 「**下水道を未来につなげる会**」(**未来会**)が活動を拡大。1 DAYインターンシップやワークショップで約**100名**の学生と交流。
- **マンホールサミット**に「マンホールの中を覗く」体感型企画を採用入れ、多くのメディアが注目。テレビの全国ネットやラジオ、全国紙などに**20回以上**露出。
- **マンホールカード**を「マンホール・エンジョイ・プロモーション」が企画。全国**28都市**が計**30種**を発行。**メディアに採り上げられた回数80回以上**。
- 「**広報・PR研究会**」を設立(団体会員15社・団体)。**会員の交流機会**が拡がり、問題の共有と解決をめざす機運が生まれた。

活動の全国展開 「G K P北海道」発足！

札幌市チ・カ・ホでのマンホールイベントで始動、北の下水道場との連携も

【「チ・カ・ホ」イベント】



①マンホール実物大パネル製作、②マンホール講演、③デザインマンホール総選挙を実施。中でも、マンホール蓋のパネルには、市民の足を止める力が宿っていると感じた。

マンホール総選挙では、当初用意した投票用紙の約3倍の1200票という投票数が得られるなど、大きな反響があった。



【北の下水道場との連携】



【課題】

①分かり易いキャッチコピーを創出することで訴求し、メンバーの増強を図る

②次の展開方向を掲げ、メンバーの活動リアリティを高める

次年度に向け、これらの課題を議論する予定。

自治体が参加しやすいGKPへ

北海道大学等で交流を図った**未来会**、関西で初めて開催した**マンホールサミット**など、地方での活動や連携が進んだ

【未来会の地方展開】



下水道を未来につなげる会（未来会）は平成27年度、北海道大学や木更津高専でワークショップを開催。多くの学生に下水道分野の魅力を知ってもらうなど、下水道界への橋渡しを行った。参加者は、**北海道大学が20名、木更津高専が55名**であった。

【関西マンホールサミット】



関西の2府4県4政令市が参画

G K Pの目玉プロジェクトの1つである「マンホールサミット」を初めて関西（神戸市）で開催した。

来場者**300名**。A B C朝日放送『おはよう朝です』など、**テレビ局4社、新聞7社、ラジオ3社、WEB4社**が取材に訪れた。

連携・コラボレーションの強化

下水道の存在や価値等を身近な暮らしの中から「実感」してもらえ
るよう、多様な団体との連携や学習を推進

【学校やNPO等とのコラボ】



多摩川流域まつり



下水道マニア(大師高校)

【下水道展におけるキッチン・バス業界との連携】



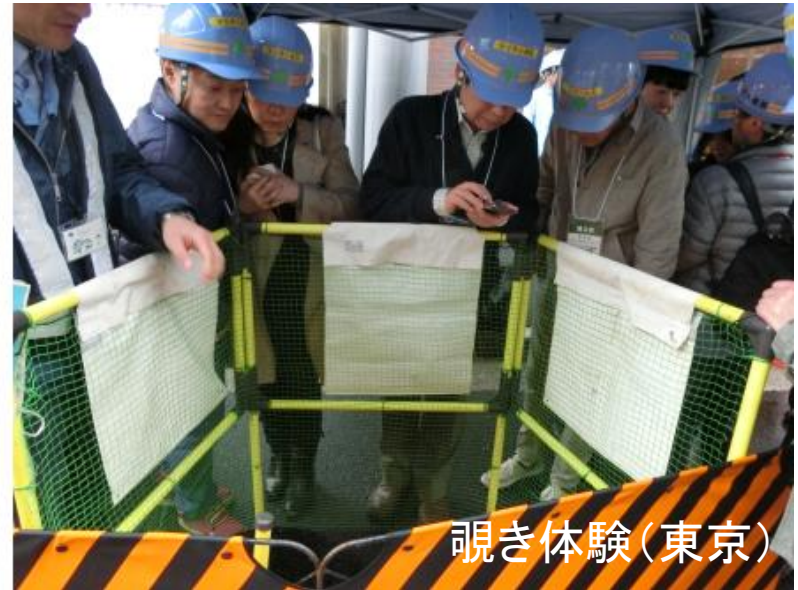
「多摩川流域まつり」とコラボし、**多摩川に戻ったアユと下水道の関係**などを講演。また、神奈川県内19校（高校）の「夏季連携講座」にて**4日間の講座「下水道マニア」**を開催。下水道展では、キッチン・バス工業会と連携し、**台所の進化とそれを支えた下水道の役割**などを市民に伝えた。

マンホールサミット

多くの市民を集め、体験要素も追加。メディアも注目するイベントとして定着



マンホール鉄板焼き(関西)



覗き体験(東京)

◇地方と東京の年2回開催

- 関西：H27.11.28（神戸市東水環境センター）
- 東京：H28. 3.19（メタウォーター）

◇体験要素の採り入れ

- マンホール鉄板焼き（関西）
- マンホール覗き体験（東京）

◇参加者延べ約600名

- 関西：300名
- 東京：300名

◇メディア露出延べ41回

- 関西：19
- 東京：22

下水道の露出アップに貢献するマンホールサミット

東京・関西で計41回のマスコミ報道

◇関西マンホールサミット（H27.11.28）マスコミ露出19回

新聞（5紙）

朝日新聞（夕刊）
産経新聞
神戸新聞
水道産業新聞
環境新聞

TV（4局）

MBS報道ニュースセンター
eo光「ニュースK」
ABC朝日放送『おはよう朝日です』
J-COM「ロカ☆ナビ」

ラジオ（3局）

KISS FM KOBE
中村こずえの みんなでニッポン日曜日！
ラジオ関西「時間です！林編集長」

WEB（3媒体）

Kiss PRESS
京阪神エルマガジン
Yahoo!ニュース

主な媒体

◇マンホールサミット2016（東京、H28.3.19）マスコミ露出22回

新聞（11紙）

朝日新聞
毎日新聞
朝日新聞（高知）
読売新聞（高知）
産経ニュース
毎日新聞_京都
建設通信
中日新聞夕刊
環境新聞
日本下水道新聞
水道産業新聞

TV（2局）

スーパーJチャンネル
真相報道バンキシャ

ラジオ（1局）

土曜ワイドラジオTOKYO

WEB（6媒体）

iJAMP
Yahoo!ニュース
時事ドットコム
Japanista
iJAMP
アークのブログ



マンホール・エンジョイ・プロモーション (マエプロ)

「見える化」から「見せる化」へ新たなチャレンジ

デザインマンホール等の『**楽しさ (エンジョイ)**』を伝える活動を展開。
活動の第一歩として、マンホールカードを開発。4月に第一弾**28都市30種**のカードを発行。



マンホールカード

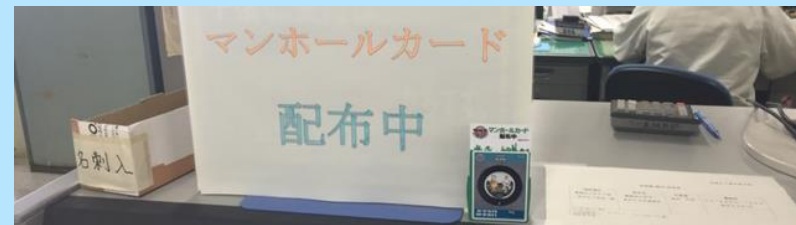


参画 28都市と連携し、**全国一斉広報!**
マスコミへの露出**80回以上**



予想を上回る反響!

配布開始 1 か月強で **3 万枚を追加発注!**



マンホールカードに大きな反響

発行から2か月でマスコミ報道80回以上

新聞 (27紙)

読売新聞
毎日新聞
朝日新聞
朝日こども新聞
産経新聞
産経ニュース
産経WEST
産経フォト
日本経済新聞
中日新聞
東京新聞
岐阜新聞
静岡新聞
秋田魁新報
秋田経済新聞
西日本新聞
東大阪経済新聞
荘内日報
高知新聞
山陽新聞
山陰中央新報
月刊タウン情報おかやま
建設通信
ヴァルジヴァンガードマガジン
日本下水道新聞

水道産業新聞
環境新聞
※WEB版等含む。複数掲載あり

TV (13局)

真相報道バンキシャ
スーパーJチャンネル
TOKYO MX NEWS
NEWS ZERO
NHK高知
高知さんさんテレビ
ひろしま満点ママ!!
デイリーニュース東大阪
キャッチ!
みんなのニュース
news every
デイリーニュース埼玉
めんたいPlus

ラジオ (8局)

IPPO
ニュースの時間
大江戸ワイド スーパーサタデー
おまかせラジオ
先読み! 夕方ニュース



毎日新聞

BLUE OCEAN
川浪ナミヲの情報アサイチ!
パワーベイモーニング

WEB (7媒体)

iJAMP
Yahoo!ニュース
時事ドットコム
ねとらぼ
Japanista
iJAMP
アークのブログ

会員参加の機会を拡大、活動は全国へ！

下水道分野で働く女性のマガジン

GJ Journal 創刊

女性の視点から下水道への理解を
深めていただくためのマガジンを発刊

2016年1月：創刊号

2016年2月：北海道特集



【取り上げられたメディア】

時事通信、Yahoo!サイト(Yahoo!ビューティー)

(TV番組「にじいろジーン」制作サイドから企画協力の相談あり)

地方ブロック別 ワークショップの開催

6つのブロックでの開催

(北海道、名古屋、九州、近畿、中国・四国、関東)

開催市の下水道施設見学も実施

→**164名**の下水道女子が参加



ブロック別ワークショップの様子

エコプロダクツ2015

27年度事業実施概要・成果

「体験型」を採り入れた水循環の一体展示、集客力も定着

エコプロダクツ2015（H27.12月8日～10日）に出展。上水と下水分野を統合して一体展示し、**水循環の理解をより高めるため、体験型企画を強化した**。運営に当たっては、**21世紀の下水道を考える会協議会**にもご支援いただいた。



2011年は関連法人で出展。
2012年からG K Pが企画・運営に携わり、以来毎年**6,000人近い規模**を集客するブースとして定着。

来場者実績(3日間合計)

2011	2012	2013	2014	2015
2,700人 (約1.5%)	5,976人 (約3.3%)	6,140人 (約3.6%)	5,911人 (約3.7%)	5,570人 (約3.3%)

↑ 倍増 ↑ この年からG K Pが参画

※ () 内は全体来場者数に占める本ブースへの来場者数の割合 11

27年度事業実施概要・成果

下水道展「スイスイ下水道研究所」

体験型の分かりやすい展示がマスコミからも高評価

日経産業新聞（7/31）コラム



下水道展2015東京において「スイスイ下水道研究所」の企画・実施に協力。一般来場者に「触れる」「嗅ぐ」「聞く」などの体験を通して、下水道を面白く・分かりやすく学んでもらうことを目的とした。毎年レベルアップを図っており、こうした取り組みが、日経産業新聞のコラムで紹介された。

東京ビッグサイト（東京・江東）で現在、環境関連の大きな展示会が2つ、偶然にも同時開催している。「下水道展」（日本下水道協会主催）と、「PV Japan 2015」（太陽光発電協会主催）だ。両展示会をほしごしてみると、ある違いに気づく。

まず下水道展は子供の来場が多い。小学生が夏休みの自由研究で使えそうな

サイチライト

環境展示会、子供も来れ

下水道の仕組みをわかりやすく紹介したブースや、実験教室があちこちで開かれていた。今年初の試みではなく、毎年の取り組みだという。大阪市内で開かれ、記者が初めて訪れた昨夏の下水道展も多くの家族連れでにぎわっていた。

「水道は生活に不可欠なインフラで老朽化が深刻なだけに、消費者にもっと訴えないといけない」（メタウォーターの松本晴雄会長）。まだ訴求不足な点もあるが、危機感は業界内で強い。

消費者にPR、努力必要

対してPV Japan。固定価格買い取り制度の見直しで大規模太陽光発電所（メガソーラー）の需要が見込めないなか、各社は住宅用に軸足を移している。だが業界関係者以外の来場はほぼ皆無だった。

PV Japanは業界イベントであって、小売りの場ではないが、系統接続問題など太陽光発電に否定的な論評もみられる現在、長短所含めて正しく理解してもらうためにも、消費者に目を向けてもらう努力は必要だろう。（榊原健）

多様な交流の場

27年度事業実施概要・成果

わいがやトークがつないだ縁

第16回（7月3日）



「佐賀市のバイオマス産業都市づくり」

ゲスト：前田純二氏、諸富里子氏

ビストロ下水道への取り組み、新燃料として期待されるミドリムシの培養など、先進的な取り組みを紹介。

約60名が参加。

キッチン・バス工業会

下水道の入り口であるキッチンメーカーの関係者が、佐賀市の下水道資源の循環の仕組みや、ビストロ下水道食材の生産現場などを視察。

佐賀のビストロ食材を使い、
キッチンから下水道の魅力を伝えるプロジェクトを検討。

佐賀市の取り組みを視察



早慶レガッタ協賛

27年度事業実施概要・成果

歴史あるスポーツを通じ、水環境や地域の暮らし、文化等を支える下水道の役割を再認識してもらう

<イベント概要>

会期：2016年4月17日(日)

場所：隅田川(新大橋上流～桜橋上流 約3750m)

参加団体：早稲田大学漕艇部と慶応義塾大学体育会端艇部 他

後援：国土交通省下水道部、日本下水道協会、G K P

協賛目的：

隅田川の再生に下水道が深く関わっており、G K Pとして本大会を後援として支えることで、歴史ある大会を未来へと繋ぐ



<イベント支援>

- イベント開催を
各種メディアへ配信



イベントチラシ

- 横断幕設置(後援三者提供)+車載式大型
ビジョンで競技の様子
をライブ中継



甦る水 はじける笑顔

ゴールの桜橋に設置した横断幕と車載式LEDビジョン

大型ビジョン
メタウォーター提供



関係者の声

- 早大ボートの水掻き出しの様子
などがゴールで待つ多くの人や
大会幹部からも見え好評。
(来賓者より)
- 横断幕やビジョン提供で、大会
の盛り上がりを支援いただき感
謝している。来年も是非支援を
お願いしたい。
(主催者より)

下水道界未来の道標 業界トップが若手職員にメッセージ

「俺たちを超えていけ。超えられるものなら超えてみろ」を裏テーマに、
経験豊富な経営陣から若い世代に向けて熱いメッセージを伝えていただいた。



ゲスト：（写真右から）

長谷川健司・管清工業株式会社代表取締役社長

服部博光・月島テクノメンテサービス株式会社代表取締役社長

野村喜一・株式会社日水コン代表取締役社長

松木晴雄・メタウォーター株式会社代表取締役会長

高校生のための4日間連携講座「下水道マニア」

神奈川県内高校の「夏季連携講座」に初めて下水道のカリキュラムを採用



管内調査の様子に関心を示す学生



疑似ウンチ・オシッコはどう流れる？

神奈川県内19校の総合学科高校を対象に、職場体験や校外活動等の専門的な学びを目的としている「夏季連携講座」。今年は、県立大師高校教諭の松井浩気氏の発案で、**これまで河川環境の改善に大きく貢献してきた目に見えない地下の川「下水道」**を初めて採り上げた。参加者は**教員を含めて15名**。平成27年8月4日から7日の4日間にわたり実施し、「使った水や街に降った雨はどこに行くのか」という**身近な疑問から水の循環を考えてもらう学習**を行った。また、教員にも、**環境学習の視野を広げてもらうきっかけ**となった。

受講生徒の意見・要望

- ✓ 下水道管内に入ってみたい
- ✓ 下水処理方法、反応タンクの微生物がなぜ汚れを食べるのかを知りたい
- ✓ 違う水処理センターも見たい

広報・P R研究会の発足

— — — 団体会員の連携強化をめざして

各企業や団体の広報・PR活動担当者を対象に「GKP広報・PR研究会」を発足。情報交換を行うとともに、各企業が抱えている課題や問題点などを共有し、解決策を話し合う機会の創出を図る。

メンバー構成

多様な企業・団体で構成

(H27は広告代理店、下水道メディア等を含め15の企業・団体が参画)

活 動

H27.12.17 第1回研究会開催

H28. 2.25 第2回研究会開催

H28. 4.20 広報フォーラム開催



BtoCマーケティングに学ぶ企画の立て方と題して、グリー株式会社のベッシャー・アルセ二氏を講師に招いて開催

参加者：団体会員を中心に**50名参加**

下水道を未来につなげる会（未来会）

大学や高専の学生に対し、リクルート活動等を展開

◇下水道展'15 in 1 DAY インターナシップ



- ・参加人数:**31名**
- ・下水道展会場見学
- ・下水道業界の説明
- ・各企業の説明
- ・グループディスカッション、発表

◇木更津高専×GKP未来会 ワークショップ



- ・参加人数:**55名**
- ・木更津処理場見学
- ・下水道業界の説明
- ・各企業の説明
- ・グループディスカッション、発表

その他 数字で見る活動成果

会員数

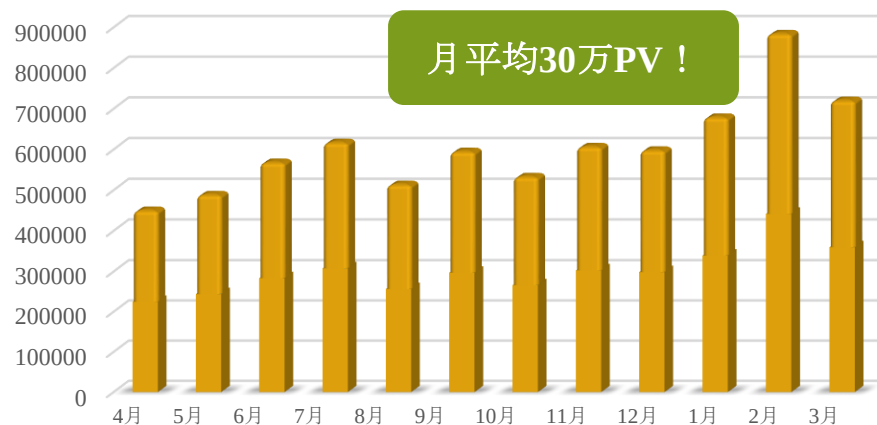
平成26年度末		平成27年度末	
個人会員	団体会員	個人会員	団体会員
598人	49団体	653人	122団体

会員数は前年度に比べて**個人会員が55名増**の653名、**団体会員が73団体増**の122団体となった。

ホームページ



月別PV数



27年度のPV（ページビュー）は**362万3174件**にのぼった。
月当たりのPV 約30万件！

活動 5 年目を迎えるに当たって

これまでの活動を通して思ったこと
G K P はこうありたい！

下水道で働く人と、
地域の **笑顔** を育むGKP

地域のための下水道

これまでは下水道界からの発信
と活性化が中心

しかし…

4 年間で数々のプロジェクトを
推進し、「**住民の笑顔に
どう貢献するか**」を考え
られる力がついた



下水道で働く人と地域の笑顔を育む

新たなムーブメント

国民が変わる

国民が下水道を自分ゴト化して行動

実態調査

・国民意識調査

私たちが変わる

全員で広報、国民を巻き込む運動

・広報/CSR
取り組み調査

展開方針

数値目標を立て、仮説と検証によるPDCA

3つのスローガン

活動の地方展開

対象・層の拡大（国民の巻き込み）

目玉プロジェクト外の育成・自立

《 各プロジェクトは3つのスローガンに関連し、相互の連携等を図りながら促進される 》

- ・まち・みず・すまいるプロジェクト立ち上げ
- ・コミュニケーション研究会
- ・下水道を未来につなげる会（未来会）
- ・高校生の夏季連携講座「下水道マニア」
- ・下水道体験機会の創出
- ・ビストロ下水道企画
- ・水の天使による多方面へのコミュニケーション
- ・GJリンク
- ・マンホールカード
- ・マンホールサミット
- ・トイレジャック協賛
- ・エコプロダクツ出展
- ・早慶レガッタ協賛

新たなムーブメント

①実態の把握（課題の整理と目標設定のために）

・国民の意識調査

学生・主婦、政治・経済界、農林漁業生産者など国民各層に対する意識調査を実施。

結果をもとに**数値目標**を設定し、**対象者に応じたコミュニケーション方法**等を検討。

・広報/CSR活動の取り組み調査

下水道に携わる個人、企業・団体の年間の広報・CSR活動への取り組みの実態を調査。（**将来的には評価・認定も視野に**）



②私たちが変わる！「エンブレム」の検討

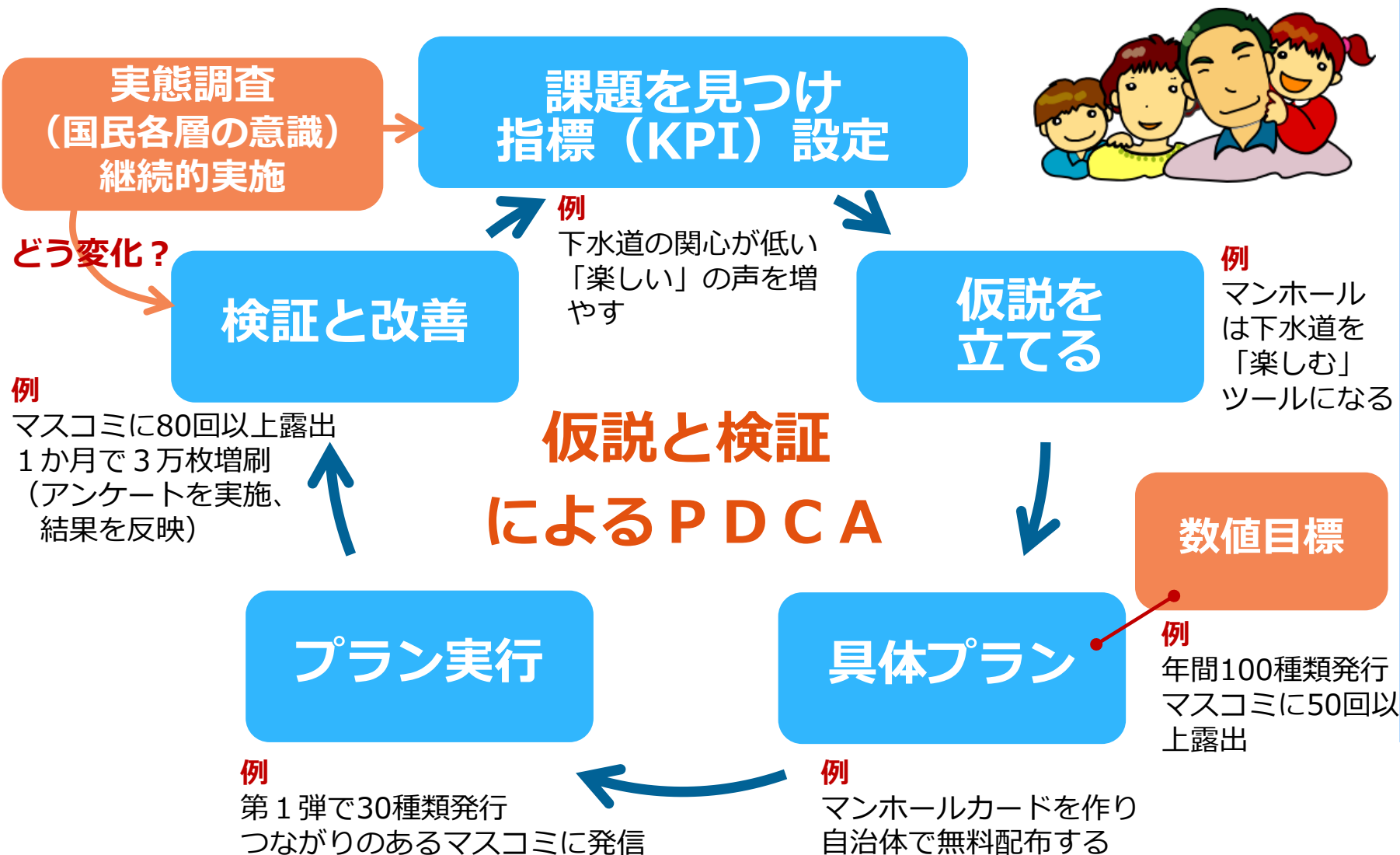
下水道に携わる人 皆が1年に1度は広報のために行動する。

（新ムーブメントを起こすため、象徴としての**エンブレム**を検討）
私たちが意識を変えて行動し、**国民を巻き込んでいく**。

③国民が変わる！エンブレムによる運動拡大

国民が下水道を取り巻く課題や問題等を**自分ゴト化**して行動宣言。

展開方針 P D C A によるスパイラルアップ



コミュニケーション研究会の推進

（多様なステークホルダーとの連携強化を目指して）

下水道の必要性をきちんと理解し、これからの下水道のあり方を下水道ユーザーも巻き込んで一緒に考えていくため、各企業や団体で構成されている団体会員相互、あるいは団体会員と下水道ユーザー（個人、法人）との連携強化を図る。

なお、GKPから下水道ユーザーへの情報発信に重点をおいた前年度活動に対し、今年度から両者間の双方向な情報のやり取りや下水道ユーザーとの協創を重視することから、研究会名を広報・PR研究会から「**コミュニケーション研究会**」に変更する。

活 動 計 画

- ・ 広報・PR担当者会合 **年2回開催**（4月、10月）
- ・ シンポジウム **年1回開催**（4月）
広報、PR関係に特化したシンポジウムとし、各企業の広報手法の向上に繋がるシンポジウムを目指す。
- ・ メールマガジンの発行 **年2回発行**
メールマガジン形式で団体会員の企業紹介や経営陣の紹介などを行い、団体会員の連携強化を図る。
- ・ 下水道に係わる国民運動の策定
産官学が一体となり、国民に下水道を分かり易く伝えるためのキャンペーン企画を策定、参加者全員で作りに上げていく。
（6月～5月策定、平成29年度より実施）



平成28年度の事業計画（案）

「まち・みず・すまいるプロジェクト」立ち上げ

下水道を通したまちづくり、地域の課題解決、下水道が抱える課題の解決に取り組んでいるヒト取材し、その**スマイルを集めて発信**。それによって取り組むヒトとスマイルの輪を広げる。

配信頻度は月1件。

数値目標設定

例：読者数、スマイルの拡がり

例：ビストロ米づくりに頑張っている農家さんのスマイル



（商工会議所、JA、全国中小企業団体中央会、地方銀行、地域社会振興財団、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、下水道サポーター、地域活性化伝道師等々）

地域活性化伝道師（内閣府）にGKPから選定：栗原秀人氏

下水道を未来へつなげる会 (未来会)活動目標

①大学生へのリクルート活動の継続

下水道展'16名古屋での「1DAYインターンシップ」や大学での「現場見学×ワークショップ」を行う。

②地方への展開

昨年は北海道へ展開。今年は京都、福岡に展開を検討。

③高校や高専へのリクルート活動

大師高校のイベントに参加予定。昨年木更津高専で行ったイベントと同様に今年も検討する。

④未来会活動パンフレット作成

我々の活動のアピールとともに、「下水道界リクルート広報材料」とすることを狙いに、未来会の活動を冊子・ポスター等としての作成を進める。



未来会メンバー

国土交通省、川崎市、日本下水道協会、ヴェオリア・ウォーター・ジャパン(株)、プライスウォーターハウスクーパース(株)、月島機械(株)、(株)日水コン、日之出水道機器(株)、前澤工業(株)、メタウォーター(株)、(株)NJS、(株)極東技エコンサルタント、積水化学工業(株)、(株)日本水道新聞社、(株)水道産業新聞社

高校生の夏季連携講座 「下水道マニア」

- ◆ 講座の**定着・モデル化**を図るため、引き続き実施。
- ◆ 下水道管きょ内の調査や、ポンプ場・水処理センターでの体験学習など、**実体験**をとおして学び**環境学習の視野**を広げてもらう。
- ◆ プログラム最終日は『**見えない下水道をどう市民に伝えるか**（仮）』をテーマに、グループディスカッションを行い、発表、課題抽出、討論などを経て、**真の下水道の価値**を学び取ってもらう。
- ◆ 今年の目標：**先生と対象校の拡大、GKP未来会の若手を交えた実施**

日 時：平成28年8月2日(火)～5日(金)

場 所：神奈川県立大師高等学校

川崎市入江崎水処理センター、その他下水道関連施設

講 師：神奈川県立大師高校 磯崎純恵教諭、舞岡高校 松井浩気教諭、
相模原青陵高校 垣下嘉徳教諭

川崎市、GKP(未来会)、メタウォーター(株)、管路情報活用有限責任事業組合

講 座：第2回 下水道マニア

対 象：神奈川県内高等学校 総合学科19校より20名程度募集

下水道体験機会の創出

平成28年度の事業計画（案）

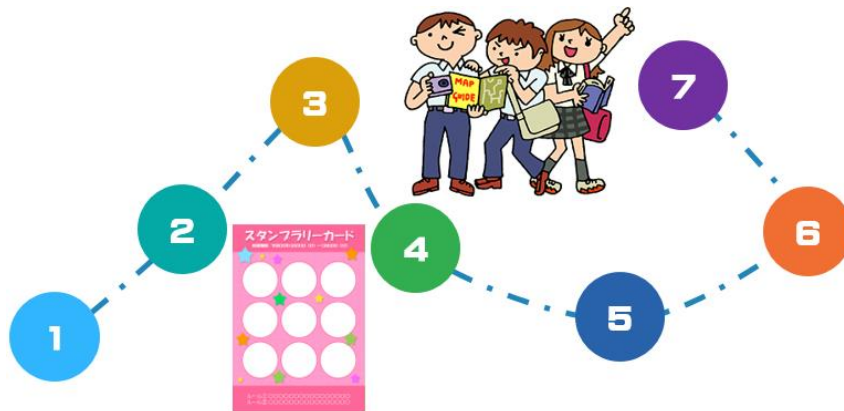
幅広い層に

参加してもらい、知ってもらい、発信してもらう企画

下水道七福神めぐり

下水処理場等の奥義を窮めるスタンプラリー

下水処理場等に秘められた奥義（日本最大、世界初など）の特別な見学を通じて「下水道の価値」を知ってもらう企画。



- ・各ポイントには何らかの奥義が！
- ・スタンプを集めて景品ゲット
- ・東京で行ったのち、全国に展開

水上から見る隅田川 新たなツアー企画を検討

ビストロ食材などを堪能しながら
下水道と川の関係などを実感。



ビストロ下水道企画

平成28年度の事業計画（案）

- 一般層の注目と他分野との融合を呼び込む素材として「ビストロ下水道」と連携
(キッチン・バス業界とビストロの融合 ⇒ クッキング教室)
- 食と下水道の連携を「B to B」「B to C」コミュニケーションの一機軸として支援する
- 下水道展やエコプロダクツに出展。下水道展（名古屋）では食材を実際に味わえる企画を実施し、下水道の魅力を実感してもらう

キッチン・バス工業会連携企画

キッチンメーカーと連携、ビストロ食材を使ったクッキング教室を計画



「ビストロ下水道飲食店(仮)」

7月の下水道展開催中、名古屋市内の飲食店で開催



ビストロ体感イベント(下水道展'14大阪)

水の天使による多方面へのコミュニケーション

水教育プログラムの実施

ミス日本「水の天使2016」須藤櫻子さんは、河川財団 プロジェクトWET ウォーターエデュケーター資格を取得（5月1日）。

下水道展「スイスイ下水道研究所」、エコプロダクツ展などでの活用を検討



伝道師としての活動



(写真左)
安倍昭恵夫人に
佐賀のビストロを紹介

(写真右)
マンホールカードを手に
丸川珠代議員と

GJリンク

下水道分野で働く女性のマガジン

GJ Journal 発行の継続

【発行済】

2016年4月 関西特集

【今後の発行予定】

2016年 6 月	九州特集
2016年 7 月	中部特集
2016年10月	中国・四国特集
2016年12月	関東特集



読者層の拡大
リクルートツールとしての活用



マンホールカード

マンホール・エンジョイ・プロモーションの活動方針

①全国展開をより円滑に

マンホールカードの発行手続き等を示したマニュアル類を整備し、参画に向けた自治体の検討や手続き等が円滑に進むように改善を図る。

②28年度内に累計100種類のカード発行をめざす

第2弾は現状、約40都市が発行を希望。8月の発行をめざす。

③地域を活性化する派生事業を検討

マンホールカードを使って地域を活性化させる（例えば商店街の活性化や観光事業）など、新たな展開を検討。

これら派生事業について、実施できるものがあれば着手する。



マンホールカード



マンホールサミット

年2回の開催を想定。

候補地として東京のほか、埼玉県、奈良県などが挙げられている。

ブランドの定着

ブランドを定着させるため、「サミット」と冠する条件を整理する。その上で、他のマンホールイベントとの連携を図る。

自主的な運営へ

地方でも開催要望が高い「サミット」を、各自治体等が自主的に運営できる体制づくりや支援のあり方を検討する。



開催技術の共有と水平展開

周知方法、マスコミ対応、展示技術等、これまでの開催で蓄積したノウハウは豊富にある。

自治体や企業などから広報担当者等を運営スタッフとして受け入れ、G K Pのノウハウを吸収してもらう。

トイレジャック実施

平成28年度の事業計画（案）

下水道の役割を伝えるオリジナルトイレトペーパーを制作

特定施設の公共トイレすべてに設置、下水道の価値を広く発信する企画を共同で実施

下水道展名古屋における実施企画例

1. 目的

- ① 下水道の役割を感じてもらう場所として、トイレが最も実感してもらいやすい場所であることから、トイレを活用した下水道のPRを行う。
- ② イベントを通じて多くの市民に、下水道に関する情報に触れてもらうきっかけを作る。

2. 実施場所・実施期間

- ① ウィンクあいち(第53回下水道研究発表会 会場) 平成28年7月26日(火)～28日(木)
- ② ポートメッセなごや(下水道展 会場) 平成28年7月26日(火)～29日(金)

3. 制作物

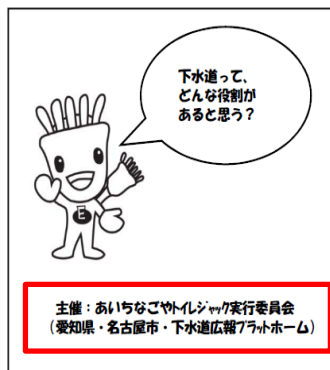
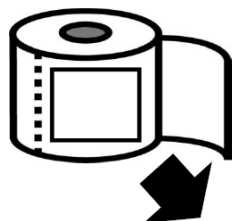
企画への協賛企業(16社)が、自社費用負担でトイレトペーパーを制作し提供

8,000個制作予定

4. 主催団体

「あいちなごやトイレジャック実行委員会」（愛知県・名古屋市・GKP）

制作物イメージ



下水道のやくわり ①



(A社PR枠)
私たちは、「トイレジャック」を応援しています。

キャラクター
(各社)

社名
ロゴ

下水道のやくわり ②

生活を快適にします
下水道ができるとおいのない水洗トイレが使えるようになります



エコプロダクツ2016出展

<今年の新たな取り組み>

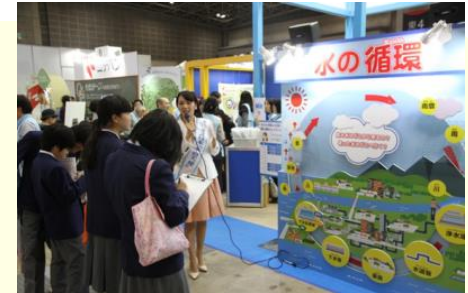
【日本水道協会の参画】

日本水道協会が上水分野の仕組みや役割等を担える体制へと移行。

上下水のPRについて、水業界全体で支える体制を確立する。

【水循環理解を高めるイベントの実施】

目玉イベントとして、水の天使によるプレゼンテーションを実施。
一方向での語りかけではなく、来場者との双方向コミュニケーション
を生み出す企画を立案し、水循環の更なる理解向上へと繋げる。



昨年の水の天使によるMC

<出展概要・出展方針>

会期：2016年12月8日(木)～10日(土)

場所：東京ビックサイト

小間数：全体で12小間(GKP6小間、メタウォーター6小間)

ターゲット：小学4年生(+その保護者)

来場目標：6,000人(昨年実績：5,570人)

【出展コンセプト】

水循環、物質循環の大切さをPR



昨年のブースイメージ

早慶レガッタ協賛

<イベント概要>

会期：2016年4月17日(日)

場所：隅田川(新大橋上流～桜橋上流 約3750m)

参加団体：早稲田大学漕艇部と慶応義塾大学体育会端艇部 他

後援：国土交通省下水道部、日本下水道協会、G K P

協賛目的：

隅田川の再生に下水道が深く関わっており、G K Pとして本大会を後援として支えることで、歴史ある大会を未来へと繋ぐ



<来年のイベント支援に向けて>

● イベント開催を
各種メディア配信



● 後援3団体で横断幕設置、
隅田川の再生をPR



甦る水 はじける笑顔
*公益財団法人日本下水道協会、下水道広報プラットフォーム（G K P）、国土交通省下水道部

● 下水道関連企業の協賛を募り、
イベントの盛り上がりを支援

(企画案)

- ・ 車載式大型ビジョンで競技を生中継
- ・ B S ・ C S でのテレビ放送



視聴者数などを数値目標化

新しいGKPが始まります！

下水道で働く人と地域の笑顔を育む下水道

目標を会員で共有し、
プロジェクトごとに明確な数値目標を立て、
全国に「笑顔が広がる」活動を展開していきます



団体会員122団体

(株)アイ・ケー・エス	興亜土木(株)	東栄電設(株)	(株)富士邑
旭シンクロテック(株)	(株)公共投資ジャーナル社	動栄工業(株)	フジワラ産業(株)
浅間保全工業(株)	(株)幸工務店	(株)東京設計事務所	(株)フソウ
足立建設工業(株)	佐渡建設(株)	東京都下水道サービス(株)	プラスチック・マスマンホール協会
阿南電機(株)	三機工業(株)	東信工業(株)	(株)ホープ
池田市上下水道部	(株)三水コンサルタント	東宝建設(株)	北立建設工業(株)
(株)石垣	(株)G & U技術研究センター	東邦レオ(株)	(株)北海建設工業所
植田電機(株)	ジーエス管業(株)	(株)ドーコン	(株)前澤エンジニアリングサービス
栄光産業(株)	(株)ジェイアル東日本ビルディング	(株)TOZEN	前澤工業(株)
SDライナー工法協会	(株)品川鐵工場	徳丸管工(株)	松田建設工業(株)
ヴェオリア・ジャパン(株)	(株)篠田製作所	(一財)都市技術センター	松戸建設(株)
(株)N J S	正和興業(株)	(株)西島製作所	松村土建工業(株)
(株)荏原製作所	新栄工業(株)	内外工業(株)	(株)丸島アクアシステム
塩化ビニル管・継手協会	(株)伸幸	長島鋳物(株)	三倉建設(株)
(株)大原鉄工所	(株)神鋼環境ソリューション	(株)中村鐵工所	三倉工業(株)
尾島興業(株)	(株)新東洋建設	N P O 法人 2 1 世紀水倶楽部	三菱化工機(株)
オリジナル設計(株)	新日本有限責任監査法人	(株)西原環境	三菱電機(株)
加茂建設(株)	水道機工(株)	(株)日水コン	(株)水十水工業
(株)川瀬電気工業所	(株)水道産業新聞社	日本ヒューム(株)	(株)村井工業所
(株)カワハラ	水King(株)	日本グラウンドマンホール工業会	村石建工(株)
(株)環境新聞社	隅田川工業(株)	(公社)日本下水道協会	(株)明電舎
管清工業(株)	住友重機械エンバイロメント(株)	(一社)日本下水道施設業協会	メタウォーター(株)
(株)カンツール	積水化学工業(株)	(一社)日本コンクリート防食協会	メタウォーターサービス(株)
管路情報活用有限責任事業組合	多賀建設(株)	(株)日本水道新聞社	八恵砂工業(株)
(株)極東技工コンサルタント	高杉商事(株)	(一社)日本ダクタイル鉄管協会	(株)八千代工業
(株)クオラス	(株)武井工務所	パルテム技術協会	山喜建設(株)
草場建設(株)	月島機械(株)	万水電機設備工業(株)	山代建設(株)
久保木建設(株)	月島テクノメンテサービス(株)	(株)日立製作所	有幸建設(株)
(株)クボタ	(株)鶴丸環境建設	日之出水道機器(株)	ラサ商事(株)
クリスタルライニング工法協会	(株)データベース	(一社)東京都下水道工事専業者協会	
下水道メンテナンス協同組合	東亜グラウト工業(株)	特定非営利活動法人びわこ・水ネット	

エコプロダクツ出展協賛団体

2 1 世紀の下水道を考える会協議会

日頃のご支援に深く感謝申し上げます。

なお、GKPは団体会員が望む活動を一層精力的に展開するとともに、団体会員の拡大をめざします。

下水道広報プラットホーム 入会のご案内

G K Pは会員参加型で活動しています。

入会金は無料。

会費は右表の通りです。

皆さまのご入会をお待ちしています。

会 費

個人会員

年額1,000円

団体会員

年額一口につき30,000円

入会方法

①インターネットで「GKP」を検索。

GKP

検索

②下水道広報プラットホーム（GKP）のホームページを選び、クリックしてください。

③G K Pのホームページが表示されたら、ページ上のメニューから「入会案内」を選び、クリックしてください。

④入会申込書のリンクをクリックすると、入会申込書が表示されます。

⑤入会申込書に必要事項をご記入の上、ファックス（03-6206-0265）かメール（info@gk-p.jp）でお申込みください。（詳細はHPをご覧ください）